

奈良時代を今に感じる 伝統技能の継承現場

雲時施（こさめときどきふる 七十二候）
ぱらぱらと小雨が降りだすころ。通り雨のよう
に雨が降ったかと思えばすぐにやみ、雲間
から青空が顔を出します。初時雨は、山の動物
たちが冬支度を始める合図だといわれ、こ
れからくる冬の寒さに備えます。

さぁ行こう！～魅せる！現場～

日時：令和5年11月1日（水）

参加：高校生（建築学科1年生）55名

今回の見学会は、発注者・施工者の役割や、
伝統技能についての理解を深め、学生の社会
に出る時の選択肢を考える支援のため、現場
担当職員が卒業した学校へ働きかけ実現しま
した。

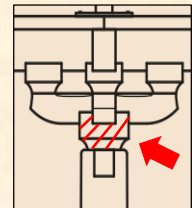
魅せる現場 第六回見学会

参加した学生達からは次のような感想が
寄せられました。

- ・「建設する際の工夫が隅々まで見学でき、
特に^{しび}鷗尾の復原のための模型を3Dプリン
ターを使って作っていたのが印象的
でした」
- ・「現場の広さや置かれてる機械、建築物
のパーツ等の大きさがプロジェクトの
壮大さを物語っていた」
- ・「12^{やりかん}の柱を昔の道具、槍鉋で丸く加工
しているのが印象に残った」



今、知りたい～現場進捗～



- ・現在、大斗（だいと）を柱の上に取り付けて
います。

豆知識（木の自然乾燥編）

- ・伐採した木材は直ちに山から搬出せずに枝を
残し、枝から水分を蒸発させ乾燥させてから
搬出します。（葉枯らし乾燥）

これにより製材後の反りが少なくなり、養分
の減少で虫やカビが付きにくくなります。



■現場見学ガイド ～魅せる！現場～
～2024年12月末※（終了時期未定）

■申込みサイト

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>

見学申込み



■近畿地方整備局 京都営繕事務所

606-8395

京都市左京区丸太町通川端東入ル東丸太町34-12

京都営繕事務所

